

[科目名] 韓国語会話		[単位数] 2単位	[科目区分] アカデミック・コモン・ベーシックス			
[担当者] 李恵慶(リー・ヘキョン)		[オフィス・アワー] 時間:授業内で提示する 場所:授業内で提示する		[授業の方法] 講義		
[科目の概要] <p>韓国語入門の履修者、または同等のレベルが認められる人を対象にした授業である。入門で学んだ基礎文法を固めながら、日常会話に必要な表現・文型を中心に、実践的なコミュニケーション能力を身につけることが第一の目的とする。</p> <p>語順が同じである韓国語と日本語は、特別な発想の転換を求められることなく理解できるため、初級レベルであれば、語を入れ替えるだけですぐに会話を楽しむことができる。その特性を踏まえ、本授業では会話の基礎となる語彙力の向上に重点を置き、繰り返し練習を行うことで、自然に会話の中で使える力を養う。</p> <p>授業は基本的に以下の授業スケジュールに沿って進めるが、必要に応じてMVや映画、新聞、ブログなど、さまざまな資料を積極的に取り入れる予定である(受講生の希望や要望により変更することがある)。あわせて韓国の文化や社会にも触れ、韓国語をより身近に感じながら、楽しんで学ぶことを目指す。</p>						
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつかか] <p>日本と韓国は、歴史的・文化的・地政学的に深い関係をもつ隣国であり、今後も両国の交流はさらに広がっていくと考えられる。そのような時代において、相手を理解し信頼関係を築くために、言語を学ぶことは極めて重要である。言語は文化や社会、人々の思考の基盤であり、韓国語を学ぶことは韓国という国や人々を深く理解することにつながる。</p> <p>韓国語は日本語と文法構造が似ており、日本人にとって習得しやすい外国語である。学習初期から会話を楽しむことができ、旅行や交流、韓国文化の理解など、学んだ成果をすぐに実生活で生かすことができる点も大きな魅力である。さらに、学習を継続することで、将来は仕事や専門分野に生かし、日韓をつなぐ架け橋として活躍することも可能である。外国語に苦手意識をもつ人にとっても、韓国語は言語学習の楽しさを実感できる、取り組みやすい言語である。</p>						
[科目の到達目標] <p>本科目の最終目標は、初中級レベルの日常会話に必要な語彙や表現を身につけることである。また、韓国語の背景にある朝鮮半島の文化・歴史・社会への関心を高めることも、もう一つの目的である。具体的には、以下の四点を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日常生活のさまざまな会話場面を通して、基礎となる文法や表現を身につける。 ② 日常会話に必要な語彙や文型を習得し、表現の幅を広げる。 ③ 「聞く」「話す」を中心とした韓国語コミュニケーションを楽しむ。 ④ 韓国語学習を通して、韓国および朝鮮半島の文化や社会への理解を深める。 						
[ディプロマ・ポリシー(DP)との関係]						
学部				学科		
DP1	DP2 ○	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3

<p>〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕</p> <p>実践的な会話能力を身に付けることを第一の目的としているため、授業への積極的な参加が求められる。また、語学学習において語彙の習得は不可欠であるため、毎回、単語をしっかり覚えること。</p>	
<p>〔教科書〕</p> <p>特になし(必要に応じてプリントを配布)</p>	
<p>〔指定図書〕</p> <p>必要に応じて講義中に示す</p>	
<p>〔参考書〕</p> <p>必要に応じて講義中に示す</p>	
<p>〔前提科目〕</p> <p>韓国語入門</p> <p>ただし、韓国語の読み・書きができ、韓国語入門履修と同等のレベルが認められた場合はその限りではない。</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>評価は出席および授業への参加度・貢献度 50%、授業中に提示した課題(ミニレポート)10%、期末試験(プレゼンテーション)40%から総合的に行う。なお、単位取得には上記の出席・課題・期末試験がすべて揃わなければならない。</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>遅刻・欠席はできるだけ避け、毎回、単語の習得と復習に取り組んでください。また、授業内容について質問や要望があれば、何でも遠慮なく申し出てください。韓国語はもちろん、韓国の文化や社会に関心のある人の履修を歓迎します。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>A:80点～100点 B:70点～79点 C:60点～69点 D:50点～59点 F:50点以下</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
<p>第1回</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): オリエンテーション、今後の授業についての説明</p> <p>内 容: 授業について概観し、今後のスケジュール等について確認する</p> <p>教科書・指定図書</p>
<p>第2回</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習①</p> <p>内 容: 時制のおさらいと練習</p> <p>教科書・指定図書</p>
<p>第3回</p>	<p>テーマ(何を学ぶか): 復習②</p> <p>内 容: 願望の表現と会話練習</p> <p>教科書・指定図書</p>

第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):復習③</p> <p>内 容:可能と不可能の表現と会話練習</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):推量・意志・未来の表現</p> <p>内 容:推量・意志・未来を表わす表現と練習</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう①</p> <p>内 容:並列と理由・順序の表現(～て)と不規則用言</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう②</p> <p>内 容:理由・発見の表現(～したので、～してから)と不規則用言</p> <p>教科書・指定図書</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):異文化コミュニケーション①</p> <p>内 容:韓国映画を楽しみながら、韓国の社会、歴史、文化について理解を深める</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):異文化コミュニケーション②</p> <p>内 容:韓国映画を楽しみながら、韓国の社会、歴史、文化について理解を深める</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう③</p> <p>内 容:目的表現(～しに)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう④</p> <p>内 容:計画・意図の表現(～しようと)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう⑤</p> <p>内 容:状況・比較・対照/期待外れの表現(～したけど、～したのに)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):発展学習——会話を楽しもう⑥</p> <p>内 容:経験表現(～したことがある/ない)</p> <p>教科書・指定図書</p>

第14回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう⑦</p> <p>内 容: 状況の変化・受け身表現(～になる、～くなる、～(ら)れる)</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか): 発展学習——会話を楽しもう⑧</p> <p>内 容: 能力表現(～することができる／できない)</p> <p>教科書・指定図書</p>
試 験	<p>プレゼンテーション(場合によっては筆記試験を実施する)</p>